

知的好奇心を刺激する棚づくり

～利用者の心をつかむ本棚～



南相馬市立中央図書館(福島県南相馬市) <http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/23,html>

基本データ (数値はH25年現在)

住所	南相馬市原町区旭町2-7-1
電話番号	0244-23-7789
人口(図書館が所在する市町村)	65,298人
職員数(うち有資格者数)	18人(11人)
蔵書数	264,190点
登録者数	18,919人
年間貸出冊数(H24)	317,039点

目的・趣旨

多種多様な蔵書を魅力的な形で展開していくことで、図書館資料の利用促進をはかる。

取組概要

多くの図書館では日本十進分類法にそって配架が行われているが、日本十進分類法による分類と一般利用者の感覚とは多少のズレがあるように思われる。

南相馬市立中央図書館では、日本十進分類法を尊重しながらも、それにとらわれ過ぎないことで、一般利用者の感覚にあったより利用しやすい配架計画を作成している。

↓↓↓

- 各コーナーごとに違った雰囲気が生まれ、変化に富んだ空間をつくりだせる。
- 本棚を眺めているだけで興味のある本に出合い知的好奇心が刺激される。
- ジャンルごとに企画展示を多数行うことで、館内の雰囲気に流動性とテーマ性を持たせることができる。

特徴



雑誌、CD、DVDの吹き抜けコーナー。左奥には新聞の小部屋もあり、館内でも一番活気のある空間。



「美術」のコーナー。写真集や画集も多数収集。美術館のポスターやチラシも設置してあるため色鮮やかなコーナーになっている。



「旅と地図」のコーナー。ガイドマップのほかにも日本各地のパンプレットがあり自由に持ち帰ることができる。旅行計画を立てる際に役立つと好評。

館内には閲覧用のテーブルや椅子が多数設置されており、気になった資料があればすぐに腰を下ろして閲覧できる。また、本棚は表紙を多く見せることで棚に表情をつけている。

取組の成果と今後について

南相馬市は東日本大震災の影響により人口と住民構成に変動があった。これを受けて図書館では市民の「知りたい」という要求の変化に柔軟に対応し、震災後の利用状況も徐々に上向いてきている状況である。利用者からはより生活に役立つ図書館づくりに努めるよう激励の言葉をいただいております。今後も時代の要請に合った棚づくりを行っていきたいと考えています。